

令和6年第8回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和6年7月25日（木） 午後1時30分～

場 所 苗木交流センター ホール

出席委員 教育長 岩久 義和
委 員 田島 雅子 三尾 和樹 橋本 あみる

事務職員 三宅事務局長・花田教育次長（兼）学校教育課長・森事務局次長・松井文化スポーツ部長・吉村文化スポーツ部次長（兼）鉱物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館長・伊藤教育企画課長（兼）施設計画推進室長・松原教育研修所長・安江幼児教育課長・青木発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・園原阿木高等学校事務長・渡邊文化スポーツ部対策官・青木生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長・小池文化振興課長（兼）市史編さん室長・草野図書館長（兼）蛭川済美図書館長・高井中央公民館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教育長報告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	議第24号	令和7年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について	承 認

■教育長 本日、山本委員が欠席ですが、3名の委員の出席を確認しましたので、ただいまから、令和6年第8回中津川市教育委員会を開催いたします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては、回議とします。

続いて、日程第3、教育長報告を行います。前回の定例会以降に出席した主な行事などについて報告します。

6月20日は教頭会と市初任者研修推進委員会に、21日は市議会予算決算委員会に、27日は市議会最終日に出席しました。28日は東濃地区教育長会に、29日は中体連市予選大会を視察し、青年会議所設立70周年記念式典並びに記念祝賀会に出席しました。

7月に入り、1日は可知副市長の就任式、3日は校長研修会に出席しました。4日はへき地複式教育振興会総会に出席しました。6日は中体連東濃大会の諸競技のうち、本市で行われた競技を視察しました。10日は県内教育長と県教育委員会との懇談に、東濃地区教育長の代表として参加しました。また、午後には、今年も坂下高等学校のマルシェ実行委員の生徒さんたち6名が来庁してくれました。今年度3回目になる「坂下マルシェ」を成功させたいという強い願いが感じられました。昨年度までと同様に、出来る限りの応援をしたいと思います。

14日は東濃歌舞伎中津川保存会の吉例大会でした。楽屋を訪問して、連休中に石川県で開催された「日本こども歌舞伎まつり」の際に、子供たちと交わした約束を果たしてきました。岐阜県で一番おいしいシュークリームを買ってあげるという約束でしたので、朝一番で西可児まで車を走らせ、開店を待ち、予約しておいたシュークリーム約20個、2箱を持って帰ってきてプレゼントしました。とても喜んでくれて、良かったなと思っています。「教育長さん、また来てね」と言っていました。18日は第2回教科用図書東濃採択地区協議会が行われ、来年度から中学校で使用する教科書について、採択案が整いました。本日、議第24号としてお示しします。後ほどご審議いただきます。よろしくお願ひします。22日は不登校対策の一環として今年度から行う「校内教育センター担当職員研修会」に出席しました。

なお、教育長訪問は、6月24、25日に阿木小中、苗木小中、7月2日に坂本中、5日に東小、8日に坂本こども園、9日に第二中、12日に山口小と川上小、16日に坂下小中、22日に福岡と下野の保育園、計11校と3園で行いました。前回からの主な出席行事などは以上です。

続いて、今後の主な行事です。明日26日は坂本共同調理場の工事安全祈願祭と、当市で行われる唯一の中体連県大会卓球会場に出向き表敬します。また、午後は教育支援委員会に、夜はタイ研修結団式に出席します。29日と30日は文部科学省が行う「学校づくり研修会」に出席します。2日目は出席された全国の皆さんに福

岡小学校をご覧くださいます。

8月に入り、1日は一色保育園と北野保育園を訪問します。2日は、全国高等学校総合文化祭部門の新聞部門が中津川市で開催されるので、その部門別開会式に出席します。6日からは今年で29回目を迎える岐阜サマー・サイエンス・スクールが始まります。昨年度と同様、サテライト会場の設置に加え、ひと・まちテラスの1階ロビーにもモニターを設置して配信を行います。私からは以上です。

次に、教育委員会事務局並びに文化スポーツ部から報告します。三宅事務局長。

■事務局長 前回以降の主な出席行事について報告します。

6月20日に教頭会、21日にサラダコスモ様からの寄附、これは企業版ふるさと納税ですが、その受領式、24日に市長と緑誠蘭高校理事長との面談、25日に市長の二中への訪問、26日にソフトピアジャパン訪問、7月1日に可知副市長就任式、3日に校長会、16日に文部科学省への要望、17日に市指名審査委員会、18日に幼児教育保育施設運営協議会、24日に定例記者会見と中津川市安全安心まちづくり推進市民会議に出席しました。

教育長訪問は、6月24日に阿木小と阿木中、25日に苗木小と苗木中、7月2日に坂本中、5日に東小、8日に坂本こども園、9日に二中、12日に山口小と川上小、16日に坂下小と坂下中、22日に下野保育園と福岡保育園、23日に付知保育園が行われ、今後は8月1日に一色保育園と北野保育園が予定されています。

6月市議会は、6月4日に本会議初日で始まり、21日に予算決算委員会、27日に本会議最終日が行われ、すべての予算・議案等の議決をいただきました。

今後のその他の行事は、7月26日に坂本学校給食共同調理場の安全祈願祭、29日と30日に、文部科学省主催の木材を活用した学校施設づくり講習会として、1日目はひと・まちテラスで講習会、2日目は福岡小学校で視察が行われる予定です。29日に市長と末松先生のWEB面談と三役部長会、30日に岐阜県議会農林委員会の福岡小学校の視察対応、8月2日に保育所業務支援システム導入プロポーザル、6日から8日に岐阜サマー・サイエンス・スクールが予定されています。以上です。

■教育長 続いて文化スポーツ部からお願いします。松井文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。

7月2日、全国大学総合卓球選手権大会に出場する中京学院大学卓球部男女チームの激励会が開催されました。3日、図書館協議会が開催され、1年を迎えたひと・まちテラスの利用状況などについて報告、協議がされました。7日、青少年の非行・被害防止全国強調月間「社会を明るくする運動」中津川市大会が開催され、内閣総理大臣や岐阜県知事のメッセージ披露、中津川大会の青少年健全育成の活動

についての宣言を行うほか、少年の主張大会優秀者による発表が行われました。その後、六斎市会場での街頭啓発活動を実施していただきました。

7月9日、第61回日米親善高校レスリング岐阜県大会が東美濃ふれあいセンターで開催されました。オレゴン州の高校選抜チームと岐阜県選抜チームによる交流大会で、有意義な交流が図られていました。なお、これは、中津川市が東京オリンピックのレスリングのアメリカチームの合宿地だったことで、ホストタウン交流事業の一環として中津川市で開催されたものです。10日、アジアレスリング選手権大会に出場する中京高校1年生の小川璃苑（りおん）さんと姉の中京高校3年の小川凜佳（りんか）さんの出場激励会が開催されました。この大会は既に終了しており、2人とも優勝されたという報告を受けました。妹の璃苑さんは昨年もこの大会で優勝され、連覇しました。11日、市議会文教民生委員会による所管事務調査が実施されました。テーマは、「図書館機能を中心とした現状とさらなる活用について」でした。14日、第72回東濃歌舞伎中津川保存会吉例歌舞伎大会が開催され、子供歌舞伎を初め、今回は、中山道落合宿と成田屋市川団十郎家との絆を描いた新作歌舞伎の一部が上演され、おひねりや掛け声など大いに盛り上がっていました。この新作歌舞伎は11月の歌舞伎大会で披露されると聞いています。15日、中津川市坂下出身のホラー漫画家の伊藤潤二展を視察してきました。ご本人にもお会いでき、ご自身の作品は全国約30か国で翻訳・出版されているそうです。また、映画化もされており、世界から注目されている漫画家の一人ということです。若い女性の日本人、外国人を含め、ゆっくりと2、3時間かけて見学している姿が非常に印象に残りました。

7月17日、全国少年少女カヌー大会と全国中学生カヌースプリント選手権大会に出場する小学生4人、中学生2人の激励会が開催されました。20日、福岡B&G海洋センタープールのリニューアルセレモニーがあり、シドニーオリンピック銀メダリストの中村真衣さんによる特別水泳教室が子供たちを対象に実施され、28名の小学生が参加をしてくれました。22日、全国高等学校ギターマンドリン音楽コンクールに出場される中津高等学校音楽部・器楽の激励会が開催されました。3年生10名と1年生4名のようです。2年生がいないので、関係者は危惧されていました。24日、インターハイのレスリング、ウェイトリフティング、サッカー競技や、全国高等学校ビジネス計算競技大会及び高等学校定時制・通信制体育大会の剣道、陸上競技に出場する高校生11名の激励会が開催されました。また、同日、市社会教育委員の会（兼）公民館運営審議会が開催されました。

今後の予定です。明日7月26日、中学生タイ研修の結団式があります。30日、パリ2024オリンピックのカヌー競技に出場される田中雄己選手の応援イベント

が実施されます。なお、8月1日に準決・決勝があり、多分進んでくれると思いますが、その場合は同様に実施を予定しています。応援イベントのチラシをお手元にお配りしましたので、周りの方に声をかけていただければ幸いです。

8月1日から3日、全国高校総合文化祭・新聞部門が東美濃ふれあいセンターで開催されます4日、市民文化芸術鑑賞事業の仲道育代ピアノリサイタルが開催されます。お席に招待券をお配りしましたので、ご利用いただければと思います。以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

橋本委員。

■橋本委員 教育長訪問について。川上小学校、坂下小学校、山口小学校という規模適正化計画の対象になっている学校に行かれています。規模適正化について、ほかの学校ではない特別な視点で学校を見た点があれば教えてください。また、規模適正化について、その学校の校長や先生方と話題になったことがあれば教えてください。

■教育長 「適正化の対象になっている学校」という見方で訪問はしていません。他校と同様の視点で伺っています。いずれも規模の小さな学校なので、小規模校であることのデメリットができるだけ小さくなっているか、逆に、メリットが最大化されているかというところに、特に着目をして見てきました。

職員、特に校長先生には、「地域では当然話題になるので、ニュートラルな立場でお話ししてください」「大きい方がいい、小さい方がいいという話ではなく、統合したときに子供にとってどんなメリットがあるのかということ、自身の経験を踏まえて、知っている事実があれば語ってください。想像を膨らませて、『こんなふうになるといいですね』『こんなふうになるといけませんね』ということはないでください。教員経験の中で知った『かつてこういう規模の学校で勤め、こういう規模だとこんなことができた』という事実を伝えていただくのがありがたい。その点は十分留意してください」というお願いをしてあります。そのことは、管理職から、在籍している職員にも、伝わっているはずですが、ご質問ありがとうございました。

田島委員。

■田島委員 教育長にお聞きします。7月22日の校内教育支援センター、担当職員研修会とありますが、どういうものか教えてください。

■教育長 教育次長から報告します。花田教育次長。

■教育次長 5月の教育委員会の際にも、市内の取り組みということで、不登校対策についてお話しさせていただきました。不登校傾向でなかなか教室には足が向か

ない児童、生徒が、何とか学校との接点を作って、いろいろな経験を積めるように、校内の教室以外の所に、かつては相談室と言われていた場所に、市の予算で支援員を付けて、そこで、教室への復帰を目指して、毎日登校できるように学習支援、生活支援をしていきます。昨年度から支援員の配置を進めて、今11校に教育支援センターを設け、11人を配置しています。

■教育長 不登校は、増えています。何とか歯止めをかけたいと、さまざまな取り組みをしています。そのうちの 하나가、学校内に、教室に入れない児童生徒が安心して学ぶことができる居場所を作ったことです。以前から相談室という形で設置していた学校はあるのですが、今年度、児童生徒数が多い学校、不登校の児童生徒が多い学校を中心に、10教室設置しました。安心して居られる場所、信頼できる大人が居る、この2つを担保するために常駐の職員を市費で配置しています。

担当の先生方を集めた研修も行いました。あけぼの教室やかやの木教室の室長、そこに勤めている職員の皆さんにも参加していただきました。教室担当の10名の先生以外にも4-1会議室がいっぱいになるぐらい集まっていただき、大変有意義な研修だったと思っています。「こういった研修は続けてほしい、機会を作っていただきたい」という感想がたくさんありましたので、応えていきたいと思っています。

橋本委員。

■橋本委員 先程の答えを受けてもう一つ質問です。規模適正化について、校長先生等にはニュートラルな立場でとご指導されていると伺いました。とはいえ、市教委としては規模適正化計画を出しているのです、出した後の次の行動などはどのようにお考えですか。

■教育長 担当からお答えします。伊藤施設計画推進室長。

■施設計画推進室長 適正配置計画を出し、今、落合神坂とやさかとで少しずつ不安な声などが出たことによって、令和8年になってしまうのではないかとされている方が多いということも聞いております。なので、まず私どもが今進めているのは、地域事務所を通して各地区の代表者さんとお話しし、そこからどういう経路で広げていったらいいかを相談しつつ、皆様に情報を整理すると併せて、市としては目標ではありますが、地域の意向に従って地域の皆さんが考える統合を目指していきたいと考えています。皆様とのお話で出てきた目標に向かって、今後進めたいと考えています。

■教育長 落合神坂については、統合準備委員会が何回開催できたか、統合に向けての組織はどのようなものができたか話してもらえますか。

■施設計画推進室長 落合神坂の状況ですが、昨年11月に統合準備委員会を作り、そこから議論を開始しております。それまでに、令和5年初めからそれぞれの地区

で区長、保護者と、皆で一から相談して創り上げる統合をしようと、5回ずつくらい会議をした上で、11月に統合準備委員会を作りました。

そこから、11月、1月、3月と3回の会議をして、統合するという目標を決めていただきました。現在その中でPTA部会、学校運営部会、総務部会を作りました。PTAなら、通学路をどうするか、通学方法をどうするかを、地区の保護者に集まっていたいただき相談させていただいています。総務部会では、統合に向けて、特に、それぞれの学校で残したい授業は何か、それぞれの地域で守り続けてきた伝統をどう継続していくかを話させていただいています。学校運営部会では、子供たちが集まる統合の前段階で、どんなことをして仲良くなってもらえるかなどから進めています。これを令和7年中に目標を決めて磨き上げて、8年度から開校する予定となっています。

■教育長 また地元川上地区の様子もお耳に入ることもあるかもしれませんので、そのときには僕らにも情報提供をしていただけるとありがたいと思っています。よろしくをお願いします。

田島委員。

■田島委員 文化スポーツ部で、7月24日に日光市議会が馬籠ふるさと学校を視察に来られるということで。馬籠ふるさと学校は指定管理になっていますね。とても若い方々の興味深い集団だと認識しているのですが、日光市議会が視察に来るということは、盛り上がっているということでしょうか。どんなふうに今進んでいるか教えてください。

■教育長 松井文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 日光市議会の方が昨日4名みえました。日光も人口規模は中津川市とほぼ同じで7万余人で、学校の統廃合で今後廃校になる施設があり、そこをどのように活用していくか研究模索しておられ、馬籠ふるさと学校を、宿泊もできる文教施設ということで視察にみえました。

若い、SORAFAM（ソラファム）株式会社という指定管理者さんがこの4月から始めており、昨日も外国人を中心として20名ほどの宿泊者がおり、少ないときでも3名など、常時あると言ってみえます。8月は合宿での利用が非常に多く、予約をお断りしないといけない状況で、大変好評いただいていると伺いました。また、地元の皆さんも、地域の拠点施設として集会や太鼓の練習をして、順調にスタートを切れていると私どもは認識しています。

令和4年度と5年度の2年間は直営施設でした。近くの寺沢川が土石流の恐れがあり、少し雨が降るとすぐに避難指示が出ていました。宿泊者がいると避難者を受け入れることが困難になるので、そこは止めた形で2年間直営の運営をし、ようや

く砂防の工事も完成したので、この4月から元の形で、宿泊者も受け入れる運用をスタートしました。

■教育長 ほかはいかがですか。

それでは、ご質問等がないようでございますので、日程第4、議事に入ります。本日提案する議題について、事務局から説明します。

森事務局次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 議事に入る前に、議事の公開の是非についてお諮りします。議第24号につきましても、教科用図書採択の公正確保及び適正な審議環境の整備の観点から、非公開とすることが適当と思われるので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、非公開で審議したいと思いますが、いかがでしょうか。

[異議なし]

■教育長 異議なしと認め、議第24号の議事については、非公開とします。

また、審議結果についても、公開の是非についてお諮りしたいと思います。今後、中津川市の審議結果が東濃地区の他市の審議に影響を与えることも考えられるため、令和6年8月31日まで非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

[異議なし]

■教育長 異議なしと認め、審議結果についても令和6年8月31日まで非公開とさせていただきます。

それでは、日程第1 議第24号「令和7年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について」提案説明をお願いします。松原教育研修所長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 教科書の種類がたくさんあります。しかも、審議の内容についてはできるだけコンパクトにお伝えしましたので、お手元の教科書の実物を見ながらお聞きいただくことは難しかったと思います。申し訳ありません。

ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

三尾委員。

■三尾委員 今まで使っていた教科書と教科書会社が代わったものがあれば教えてください。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 現在使用しているものから代わった教科書は4種目あります。書写はこれまで東京書籍を使っていたのですが、光村図書に代わりました。地理と歴史はこれまで東京書籍を使っていたのですが、帝国書院に代わりました。それと、数学です。これまで大日本図書でしたが、今回は東京書籍が選定されています。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 例えば、社会科でいうと、教科書会社ごとに箱に入っていて、公民は東京書籍の箱に入ったもので、地理と歴史は帝国書院の箱に入ったものということになるわけですね。バラバラに考えればいいということですね。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 言われたとおりです。協議会でも、社会科の中で発行者が東京書籍と帝国書院に分かれることについてはご意見をいただきました。ただ、法令的には種目ごとに一種を選ぶことになっておりますので、社会と言う教科の中で発行者が異なっても問題はありません。研究員の先生方には、東濃採択地区の基準に沿って、東濃の子供たちにとって一番いいものという視点で選んでいただいております。その中で発行者が分かれたということです。

■教育長 田島委員。

■田島委員 採択に出ささせていただきました。中津川市は主管ということで、関係の方々、本当にお疲れさまでした。

研究員の方々は本当に全部読みこんでいらっしやって、すごいなと思いました。教科書の内容が頭の中に全部入っているようで、素晴らしい研究、調査をしておられたと思います。私も採択のときおりましたが、疑う余地がありませんでした。

相変わらずの至れり尽くせりの本で、それがだんだんエスカレートしていつているようにいつも思います。これだけの情報量にプラスしてQRコードが100以上あります。本当にこれが全部吸収できるのかと思います。採択員の方々は、QRコードの数が、ここは100、ここは80と言われ、どう聞いていてもQRコードが少ない方がいいのではないかと聞こえてしまいました。情報量が多ければ多いほどいいことになっている状態です。私たちが習った頃は、教員の知識や器量で膨らませて教えてくださったと思っているのですが、これだと、膨らませるも教員の個性もあったものではないという感想を持ちました。本当にどこかでリセットして、

一から作り直すことができたらいいなと感じました。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 ICTのQRコードについては、ご意見でも多く出ていました。各研究員は、「この教科書会社はQRコードがいくつで」と出しながらも、決め手になっていたのは数の多さではなく、子供たちが家で調べるとき自分で辿り着けるようになっているか、整理整頓がされているかという、中身で選ばれていたと思いました。

■教育長 ほかはいかがですか。

橋本委員。

■橋本委員 うちの子も中学生で、教科書は大人が読んだ方が面白いぐらいたくさん情報があって、すごく便利だと思いますが、その反面、重いので置き勉という問題もあり、すごくもったいないと思います。家に帰って家庭学習してほしいので、そこが上手に活用してもらえたらいいと考えます。

■教育長 ありがとうございます。

田島委員。

■田島委員 協議会では研究者も専門家も教師もいらっしゃって、その中には親の立場の方もいらっしゃるのですが、どうしても親の立場の方の発言が少ないです。もちろん専門家が多いので、そちらが重視されると思いますが、使っている子供の親の意見をもっと出していただいた方がいいと思いました。意見が出にくい雰囲気だと思います。以前、重さの話のときは、親さんが非常に活発に意見を出してくださった覚えがあります。親さん達の意見もたくさん頂戴しながら進めていけたらよかったです。

■教育長 そのほかはいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第24号については、承認ということでよろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 議第24号「令和7年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について」は、原案どおり承認とします。

これをもちまして、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について、報告をお願いします。

森事務局次長。

〔 事務局から次回日程の説明 〕

■事務局次長 次回の開催日は、令和6年8月14日水曜日13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

■教育長 次回は、令和6年8月14日水曜日13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

〔 閉 会 （午後2時34分） 〕